

国立公園におけるカーボン・オフセットキャンペーン実施概要

2019.02.01

環境省と経済産業省の両省は、互いに連携し、国立公園内のビジターセンターや観光船、マイカー規制期間中の通行車両等から排出されるCO₂を、国立公園周辺等での省エネ・再エネ設備の導入や、森林管理によって削減または吸収したCO₂で埋め合わせる、“カーボン・オフセット”の取り組みを行なっています。

ボーイスカウト日本連盟は、標記キャンペーンに賛同し、このキャンペーンの取り組みを国立公園内の環境や動植物を知る「自然体験」、協力事業者やレンジャーからの話を聞く「環境学習」、来訪者を対象にこの取り組みを広く呼びかける「奉仕活動」のプログラムとして行い、わが国の自然環境や地球全体での温暖化について考え、自分のできることから始める機会とすることを目指します。

さあ、できることから始めよう「Do Your Part！」

1. 実施期間

2019年（平成31年）4月6日（土）～2020年3月31日（日）

2. 内容

本キャンペーンは、国内38か所の国立公園等に地域のスカウトが実際に訪れ、現地での学びや体験を通して、自然に対して「自分ができること」に気づきの機会とし、現地での奉仕活動の一連のプログラムにより取り組みます。プログラムは以下の通りです。

「自然体験」：国立公園などでの自然観察を行ない、スカウトの目を見た国立公園を写真に収め、現地でしかできない自然体験を味わう。

「環境学習」：現地でレンジャーなどから国立公園や自然環境の話聞き、実際におきている環境問題に対して、自分ができるところを考える機会とする。

「奉仕活動」：現地を訪れる観光客や来訪者に対して、カーボン・オフセットのチラシを配布し、個人の意識啓発や社会に対しての呼びかけを行なう。

3. 会場

国立公園・世界自然遺産（計38か所）と周辺ビジターセンター

4. キャンペーン事業の推進

主催：国立公園・世界自然遺産カーボン・オフセットキャンペーン実行委員会

○事務局：（公財）北海道環境財団 谷村、及川（日程調整、資材発送）

Tel. 011-218-7881 Fax. 011-218-7882 e-mail: tanimura@heco-spc.or.jp

特別協力事業者：

○ キヤノンマーケティングジャパン（株）：プログラム用カメラの貸与

○ ボーイスカウト日本連盟：プログラム監修

5. キャンペーン資材

手続きなどを明記した資料一式の他、キャンペーンバッジをお送りします。キャンペーン取り組みの際、制服に着用することができます。

「カーボンオフセットバッジ」

制服左胸ポケットの上方に着用します。

世界スカウト環境バッジを取得している場合は、私たちの地球を支える取り組みを行なう証として、環境バッジの下部に着用します。



6. キャンペーン実施までの手順

- ① 県連盟内でご担当いただく担当者、あるいはすでに活動する隊・団などが特定され、実施の調整を行える協力者について、担当者・協力者フォームに必要事項を記入のうえ、日本連盟事務局までお送りください。
- ② 担当者・協力者フォームが届き次第、キャンペーン実行委員会から活動日時に関してご連絡のうえ、活動日時や活動単位を調整させていただきます。
- ③ キャンペーン資材をお受け取りのうえ、キャンペーンにご協力ください。

7. 環境プログラムとしての取り組み

当連盟は、本キャンペーンを日本全国で取り組む環境に関わる活動として、世界スカウト機構が制定した「世界スカウト環境バッジ」の環境プロジェクトに認定しています。ぜひ、キャンペーンと組み合わせ、環境プログラムにもお取り組みください。

「世界スカウト環境バッジ」

環境に関する理解を深め、環境に関わる活動に取り組んだことを証するものです。

(1) 認定方法

世界スカウト機構が定める環境プログラムの履修、または同等の教育効果を持つ選択課目の細目を履修後、環境プロジェクト(※)の実施により着用ができます。

※ この環境プロジェクトに本キャンペーンが該当します。

(2) 着用期限

各年代に応じたバッジが用意されており、取得した年代区分終了時まで着用できる。

(3) 取得要件

1. 世界スカウト機構が定める要件を満たす環境プログラムを履修するか、または同等の教育効果を持つ選択課目の細目を履修する。

(ア) C S 隊は、チャレンジ章の細目を履修する。

- ・ステージ 1, 2, 3 「自然保護」 ウー(ア)およびウー(ウ)
- ・ステージ 4 「自然観察官」 アまたはイ
- ・ステージ 5 「災害救助員」 アおよびイ

(イ) B S 隊は、技能章の細目を履修する。

- ・ステージ 1 「環境保護章」(2)
- ・ステージ 2 「森林愛護章」(4)と(6)、または「鳥類保護章」(3)と(4)、または「環境保護章」(5)
- ・ステージ 3 「環境保護章」(4)
- ・ステージ 4 「森林愛護章」(9)、または「環境保護章」(1)と(6)と(7)
- ・ステージ 5 「安全章」(7)と(9)、または「森林愛護章」(7)と(8)

(ウ) V S / R S 隊は、各ステージに応じたプログラムを実施する。

2. 団・地区・県連盟・日本連盟が企画主催する環境プロジェクトに参加する。

(4) 認定までの手順

1. 環境バッジ細目の履修状況チェックリストに隊長のサイン・認証を受ける。
2. カーボン・オフセットキャンペーンに参加して、隊長の認証を受ける。
3. 隊長から団委員長に、バッジ交付申請書をもって申請する。
4. 団において、バッジの購入および適切な機会において交付を行なう。

8. 備考

- ・ 実施会場までの移動にかかる経費は隊・団のご負担となります。一部、離島の会場については、キャンペーン事務局が負担します。
- ・ 実施報告のため、写真の送付やアンケート等ご協力をお願いする場合があります。
- ・ 詳しい環境プログラムの取り組みは、日本連盟ホームページを参照してください。

以上

本件に関するお問い合わせ先：事務局教育開発部

Tel. 03-6913-6262 Fax. 03-6913-6263 e-mail:program@scout.or.jp

カーボン・オフセットキャンペーンの取り組みについて

2019. 02. 02

<自然体験>

国立公園などでの自然観察を行ない、スカウトの目で見えた国立公園を写真に収め、現地でしかできない自然体験を味わう。キャノンマーケティングジャパン（株）様の協力により貸与いただいたプログラム用カメラを用いて撮影する。



<環境学習>

現地でレンジャーなどから国立公園や自然環境の話聞き、実際におきている環境問題に対して、自分ができることを考える機会とする。日本連盟の環境学習プログラムに読み替えることが可能。



<奉仕活動>

現地を訪れる観光客や来訪者に対して、カーボン・オフセットのチラシを配布し、個人の意識啓発や社会に対しての呼びかけを行なう。実行委員会よりキャンペーンバッジを授与する。



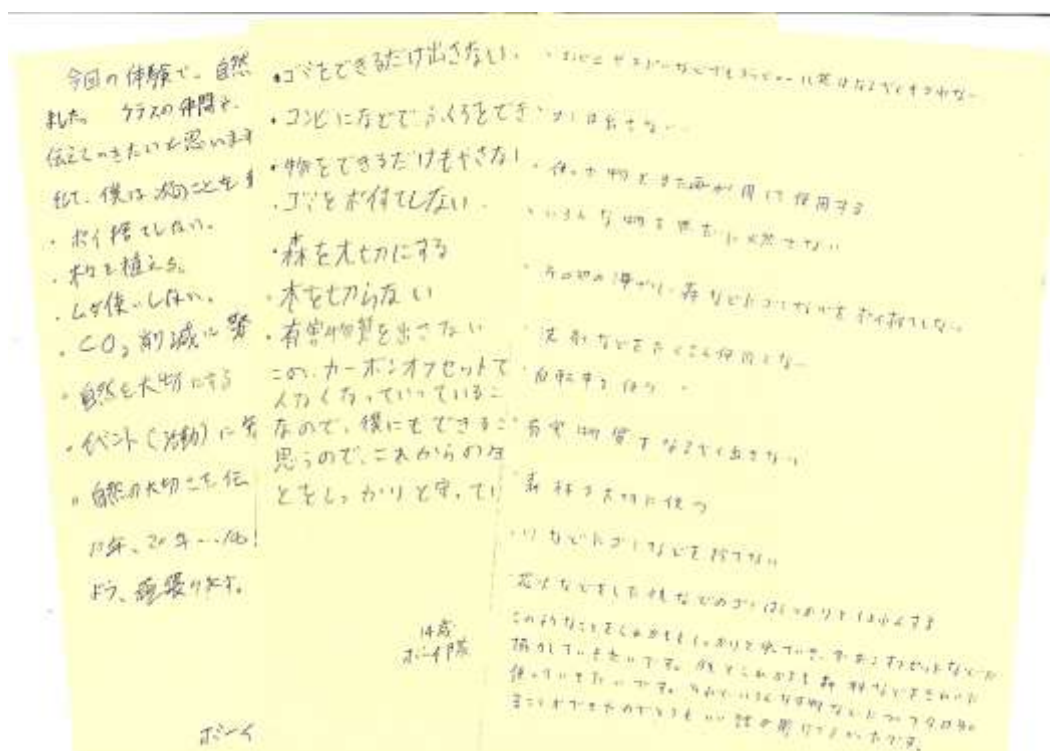
<参加スカウトの声>

(ボーイ隊・中学生の声)

- ・ このようなことをこれからもしっかりと守っていきカーボン・オフセットなどに協力していきたいです。あと、これからも森林などをきれいに使っていきたいです。
- ・ いろんな生物などについて知ることができたと、とてもいい話を聞けてできてよかったです。
- ・ このカーボン・オフセットで、僕は自然がどんどん無くなっていっていることが分かりました。僕にもできることがたくさんあると思うので、これからの生活でしっかりと守っていきたいです。
- ・ 10年、20年、100年後も木々が存在し続けるよう頑張ります！STOP！温暖化！！
- ・ 今回の体験で、自然の多様性や大切さを学びました。クラスの仲間や親などに自然の大切さを伝えていきたいと思います。

(カブ隊・ビーバー隊のエコアイデア)

- ・ エコバッグを持ち歩く
- ・ リサイクルやごみを分別する
- ・ 水を出しっぱなしにしない
- ・ 食べ物を残さない
- ・ 電気をこまめに消す
- ・ ポイ捨て禁止！
- ・ (車でなく) 自転車に乗る
- ・ 動物を大切に使う
- ・ えんぴつなど無駄なく使う



以上